

2015 壱岐レース 帆走指示書

1. 競技規則

本レースの適用規則は下記のとおりとする。

A. 帆走指示書

B. 海上衝突予防法およびセーリング競技規則（2013-2016）

2. 責任の所在

艇と乗組員の安全の確保は艇長の避けられない責任であり、博多ヨットクラブは一切の責任を負わない。レースの続行／棄権の決定責任は各艇長にある。

艇長は艇が十分艤装され、かつ必要な耐航性を保ち、荒天の海でも耐えうるクルーを乗り組ませ、艇と乗組員の安全のために全力を尽くさねばならない。

3. スケジュール

7月18日（土）	16:30～17:00	出艇申告受付
	17:00～17:30	艇長会議
7月19日（日）	04:00	レーススタート（予定）

4. レース海面

小戸ヨットハーバー沖から壱岐筒城浜七湊港に至る海面

通過地点は自由（ただし、必要に応じ艇長会議で変更／指示する場合もある。）

5. スタートマーク

マークはハーバー入港灯（緑）を使用する。

6. 本部船

スタート本部船（小戸） Humming bird V

フィニッシュ本部船（壱岐） JORDAN

※スタート本部船は全艇スタート後にアンカーを揚げレースに参加することができる。

7. レース旗

レースに参加する艇は、艇のスターン部に博多ヨットクラブのバージ（旗）を掲げる。

8. スタート

- スタート本部船とハーバー入港灯（緑）を結んだ見通し線をスタートラインとし、スタート本部船を左舷に見てスタートしなければならない。
- フリーのスタートであってもウェザーマークは設置しない。
- スタート5分前にHYC旗を掲げ、長音一声を発する。
- スタート4分前にP旗を掲げ、長音一声を発する。
- スタート1分前に、P旗のみを降下し、長音一声を発する。
- スタート時刻丁度に、HYC旗を降下し、長音一声を発する。

9. リコール

- リコール艇があった場合はX旗を掲げ、長音一声を発する。
- 復帰は当該艇の責任である。
- リコールを解消せずにフィニッシュした艇は、所要時間の20%をペナルティとして加算する。

10. ゼネラルリコール

- A. ゼネラルリコールの場合は第1代表旗を掲げ、長音二声を発する。
- B. ゼネラルリコール後の再スタートは、ゼネラルリコールとなった時刻の10分後とする。

11. フィニッシュ

フィニッシュラインは、博多ヨットクラブ旗を掲げた本部船（JORDAN）と、七湊港入口の防波堤突端の街灯を結ぶラインとする。

12. タイムリミット（レース終了時刻）

タイムリミット（レース終了時刻）は、7月19日（日）午後6時とする。
スタートが遅れた場合でもタイムリミットの延長はしない。

13. 修正順位

修正順位は、博多ヨットクラブで定めたTCFによる修正時間の少ないものを上位とし、同時間の場合はTCFの小さい艇を上位とする。
スタート本部船がレースに参加する場合は、実所要時間から10分を差し引いた時間を所要時間とする。

14. 抗議

- A. 原則として抗議は受け付けない。普段レースに参加しないクルージング艇も参加することもあるため、みだりにルール上の権利を行使しないことを要望する。
- B. 衝突は避けなければならない。
- C. 他艇と衝突した艇は、理由の如何を問わずすべて失格とする。

15. 出艇申告

出艇申告は7月18日（土）午後4時30分～5時（時間厳守）に所定の用紙に記入し、艇長署名のうえレース受付に提出し、艇長会議に出席すること。

16. リタイヤ

何らかの理由でリタイヤした艇は、リタイヤ後速やかにフィニッシュ本部船（JORDAN）に報告しなければならない。
報告無き場合は事故とみなし、海上保安部に報告し救助を要請する場合がある。

17. 航海灯の点灯

日没から日の出までの時間は、海上衝突予防法に基づき、すべての参加艇は航海灯を点灯すること。

18. エンジンの使用

バッテリーの充電目的に限ってレース中において一時的にエンジンの使用を認める。ただしこの場合、推進力を発生しないようにギヤは必ずニュートラル位置に固定しておくこと。
また、スタート4分前からスタートするまではエンジンの使用は禁ずる。

☆ 現地では、港での係留やごみ処理に注意（ごみは極力持ち帰りましょう）

他所の港での係留は、マナーを守ってトラブルのないようにしてください。